

平成 17 年度 RISH 電波科学計算機実験(KDK)シンポジウム プログラム

日時： 平成 18 年 3 月 20 日

場所： 京都大学 吉田南総合館 北棟 共北 25 講義室

(ポスターセッションは吉田南総合館 北棟 Bell Lounge)

主催： 京都大学 生存圏研究所、電波科学計算機実験専門委員会

共催： SGEPS 分科会プラズマ粒子シミュレーション研究会

口頭発表 (吉田南総合館 北棟 共北 25 講義室)

10:00-10:05 はじめに

大村 善治 (京都大学 生存圏研究所)

10:05-10:25 Global MHD シミュレーションによる磁気フラックスロープの 3 次元可視化解析

村田 健史、松岡 大祐(愛媛大)、藤田 茂(気象大)、田中 高史(九州大)

10:25-10:45 ディスク型 MHD 発電機の 3 次元解析

石川 本雄、佃 知彦、藤野 貴康 (筑波大)

10:45-11:05 小型衛星用電熱加速型パルスプラズマスラスタの非定常現象の数値計算

田原 弘一(大阪大)

11:05-11:20 休憩

11:20-11:40 汎用宇宙機帯電解析ソフトウェア(MUSCAT)の開発状況

村中 崇信、八田 真児、細田 聡史、金正浩、趙 孟佑(九州工業大学)、

上田 裕子、古賀 清一、五家 建夫(宇宙航空研究開発機構)

11:40-12:00 磁気プラズマセイルの工学的課題とその実現に向けて

山川 宏、藤田 和央、小川 博之、船木 一幸(JAXA)

12:00-12:20 ホイッスラー波パルスによる非線形サイクロトロン加速

飽本 一裕(帝京大)、大村 善治、松本 紘(京都大)

ポスターセッション (吉田南総合館北棟 Bell Lounge)

(コアタイム： 18:00 19:30、ポスターは 13 時半ごろから準備できます。)

(1) Study of EMC requirements of spacecrafts in magnetized plasma with FDTD method

T. Miyake, Y. Amagasu, T. Okada, K. Ishikawa, H. Maeda (Toyama Pref. Univ.)

(2) マイクロ波ビーム強度の空間勾配による宇宙プラズマ擾乱に関する計算機実験

中本 成洋, 臼井 英之, 松本 紘, 大村 善治(京都大)

(3) Particle simulation of resonant interactions of electrons with chorus emissions in a nonuniform magnetic field

疋島 充, 八木谷 聡, 長野 勇(金沢大), 大村 善治, 松本 紘(京都大)

(4) VLF トリガードエミッションの発生機構についての計算機実験

加藤 雄人、大村 善治(京都大学生存圏研究所)

(5) 宇宙機帯電計算コード(SPIS)の検証

池田耕一郎, 村中 崇信, 金正浩, 八田 真児, 細田 聡史, 趙 孟佑(九州工業大学)

(6) 地球・惑星周回でのプローブ電場計測: 開発現状 ~ BepiColombo, Scope, ERG, Solar Sail へ向けて ~

笠羽 康正 (ISAS/JAXA)

- (7) MHD-PIC Connection Model
杉山 徹(地球シミュレータセンター)
- (8) 磁気セイルのプラズマシミュレーション
船木 一幸(JAXA)
- (9) 3次元電磁粒子シミュレーションによる飛翔体プラズマ電磁環境の研究
岡田 雅樹(国立極地研究所)、臼井 英之、大村 善治(京都大)
- (10) AMG 前処理を用いた 3次元辺要素磁場解析に関する検討
美船 健(京都大)
- (11) Analysis of Wire Antenna Impedance onboard Spacecraft
T. IMACHI, K. YAMASHITA, S. YAGITANI, R. HIGASHI, I.NAGANO, O. NAGAI (Kanazawa Univ.)
- (12) Computer experiments on the characteristics of electric field antenna in the spacecraft environment
Y. Miyake, H. Usui, H. Kojima, Y. Omura, and H. Matsumoto (Kyoto Univ.)
- (13) Evaluation of geomagnetic storm occurrences in a long-term range
坪内 健、大村 善治、松本 紘(京都大 生存圏)
- (14) Three dimensional magnetic loop dynamics and spontaneous fast reconnection evolution
近藤 光志、鵜飼 正行(愛媛大)
- (15) 2次元非対称磁気リコネクション・モデル
中村 雅夫(情報通信研究機構)
- (16) Dynamics of Plasmoid in Fast Magnetic Reconnection
清水 徹、鵜飼正行(Ugai Msayuki)、近藤光志(Kondo, Koji) (愛媛大)
- (17) 京都盆地に侵入する広域海風・湖風の数值実験
祖慶 良平(京都大理)、岩嶋、樹也、向川 均(京都大 防災)、堀川 英隆、吉田 裕一(京都大理)、塩谷 雅人(京都大 生存圏)
- (18) 赤道大気レーダーを用いた対流圏上層層状雲付近の鉛直循環の解析
西 憲敬(京都大理)、山本 真之(京都大 生存圏)、阿保 真(首都大)、下舞 豊志(島根大)、濱田 篤(京都大理)、深尾 昌一郎(京都大 生存圏)
- (19) 中緯度電離圏 E-F 領域結合に関する数值シミュレーション
横山 竜宏、大塚 雄一、小川 忠彦(名古屋大 STEL)
- (20) 大気レーダーを用いた水蒸気推定法への変分法の応用
古本 淳一、井村 真悟、津田 敏隆、堀之内 武(京大生存圏)

- ポスターボードサイズは90cm(横)×210cm(高さ)。
- 20日、21日に生存圏シンポジウム「生存圏電波科学国際シンポジウム」を百周年時計台記念館で開催します。是非ご参加ください。 http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/radio_science2006/
- 国際シンポジウムと併催のため、講演資料は英語表記でお願いします。英語での口頭発表に御協力頂けると幸いです。
- 3月21日午後には、松本紘教授退任記念講演、パーティを百周年時計台記念館で開催します。是非引き続き御参加ください。